



Twitter 開設中！

@jtsue_yamanashi

2020.7.8 No.27

京浜東北線のワンマン運転の 検討が報道されました

2020年6月27日 共同通信より

2024年度をめどに京浜東北線のワンマン運転を検討していることが報道されました。

自動運転機能や各駅のホームドアの設置、車両の側面に駅での乗降の確認ができるカメラを搭載するそうです。

ワンマン運転によって、お客さまや私たちの働く状況が変わっていくことは間違いありません。

ワンマン運転にあたり、以下のようなことが考えられます。

車掌



ワンマン運転になったら、車掌が必要なくなるから私たちの仕事はどうなるのかな？車内秩序の維持は誰がやるのか？

運転士



走行中、車内トラブルがあった時、車掌がいないから対応できない！
異常時の車内放送も全部一人でやらなければならぬからかなり負担だ！

駅社員



ホームが曲がっている駅は、駅としても乗降の確認に不安だ。列車の進入、進出時何かあった時、運転士は列車を止めてくれるだろうか？

お客さま



満員の時には1,000人以上乗っている状態で運転している。
運転士一人で、災害などの突発的な異常時に駅間で止まってしまった時に私たちの避難誘導などは適切にできるのか？

参考：E233系(10両編成)の

標準定員 1,480名

「ワンマン運転に対するリスクは何か」を考え、

お客さまや働く全ての人々が安全で安心できる鉄道をつくっていきましょう！